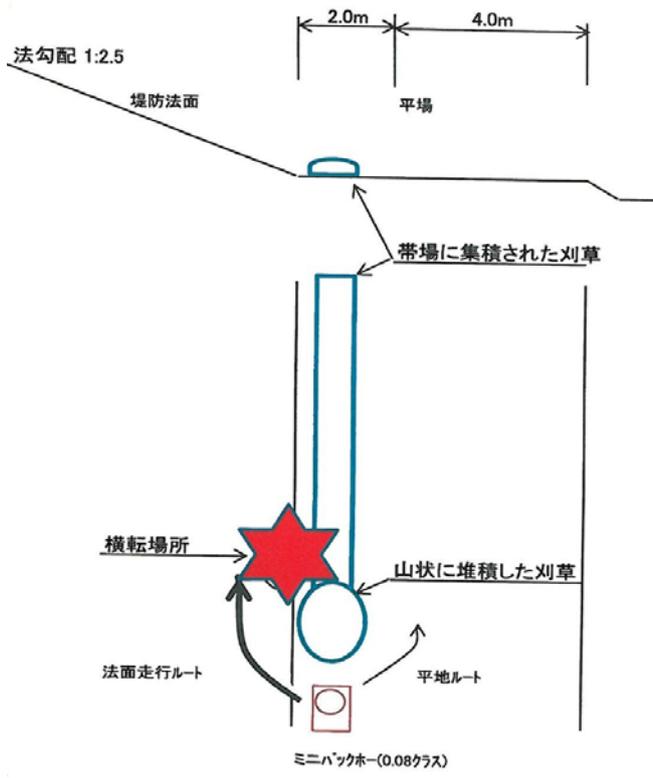


発生日時	平成 24 年 9 月 11 日 (火) 14 時 0 分			天候	晴
工事情報	河川系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	バックホウ転倒	
事故概要	川表法尻で集草作業中のバックホウが転倒したものを。				
	その他事故-建設機械等の転落、下敷き、接触、衝突等				

事故発生状況



バックホウ転倒状況

- ・ハサミ付きバックホウ(0.08m³)により帯状に集草した刈草を山状にする作業を実施。
- ・1山が完了したので、次の山を作るため山を迂回しようと、法面ルートを走行。
- ・法面を走行中、刈草をよけようとアームをのぼしたところ、バランスを崩し横転したものの。

【事故発生原因】

- ・平地を通らず、法面を走行したため。

【事故防止のポイント】

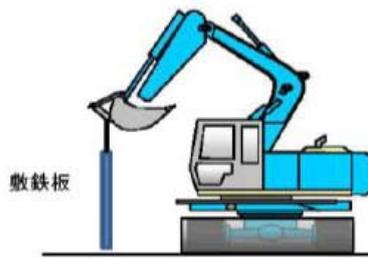
- ・建設機械作業時の安全教育の徹底。など

発生日時	平成 24 年 11 月 5 日 (月) 9 時 5 分			天候	曇
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	バックホウ横転	
事故概要	<p>地中連続壁工の杭打機下に用いる敷鉄板をバックホウ(クレーン仕様)で吊り、旋回途中で、ブームを伸ばした際に転倒したもの。</p> <p>その他事故-建設機械等の転落、下敷き、接触、衝突等</p>				

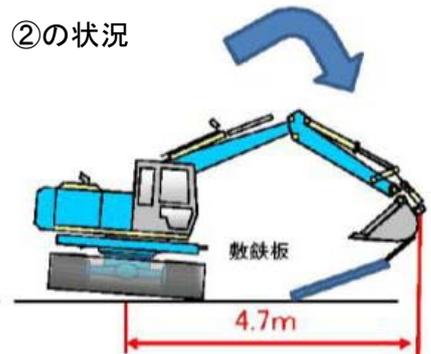
事故発生状況



①の状況



②の状況



- ・砕石敷均し作業時において、地中連続壁の施工機械下に用いる敷鉄板(2.1m×6.0m、t=28mm、w=2.56t)を0.45m³バックホウ(クレーン仕様、定格荷重2.9t)で吊り、90度離れた位置に移動しようとした。(①→③)
- ・旋回している途中、丁張りがあったため、避けようとして(②約45度旋回した位置付近)ブームを伸ばした際、バックホウが横転したもの。(ブームを伸ばしたときの作業半径約5m、定格荷重1.3t)
- ・オペレータは規格の小さい敷鉄板(1.5m×6.0m、t=2.2mm、w=1.6t)と考え、簡単に振れると判断し、クレーンモードにしていなかった。
- ・現場に規格の大きい敷鉄板があることは周知されておらず、また、具体的な作業指示が行われていなかった。

【事故発生原因】

- ・作業内容が作業員に周知・徹底されていなかったため。
- など

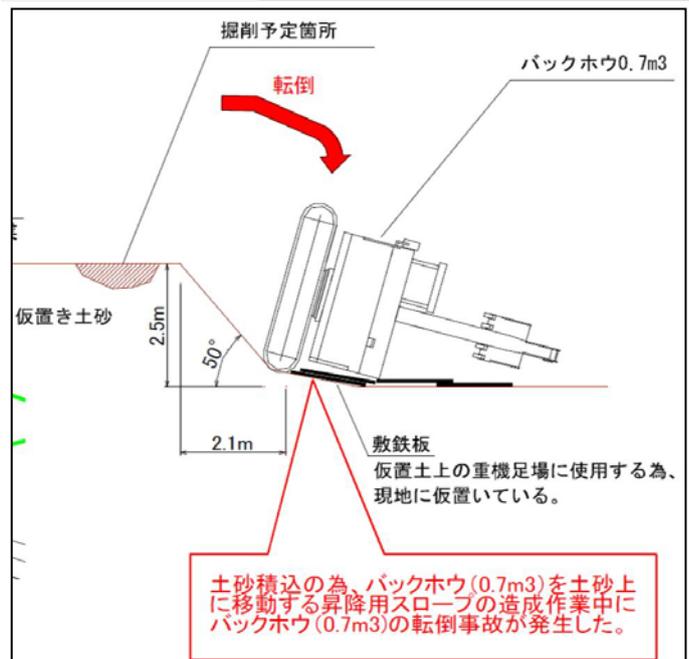
【事故防止のポイント】

- ・現場条件に合わせた具体的な作業手順を作成し、作業内容を周知・徹底する。
- ・建設機械の安全教育の徹底。 など

発生日時	平成 25 年 1 月 17 日 (木)			7 時 50 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	バックホウ転倒		
事故概要	現場内の土砂積込準備作業において、バックホウが、バランスを崩し転倒したものを。					
	その他事故-建設機械等の転落、下敷き、接触、衝突等					

事故発生状況

- ・現場内に仮置きしている土砂をバックホウ(0.7m³)1台と10tダンプトラック3台を用いて搬出する作業を行う予定であった。
- ・土砂積込の為、バックホウを土砂上に移動するための昇降用スロープの造成準備しようと斜面(50°)を進んだが、重機足場の土砂状態が悪かったため、足場整備のため後進しようとした。
- ・運転方向を変えようと、右旋回を行ったところ、90° 旋回したところでバランスがわるくなり、キャタピラ後方に置いていた敷鉄板がズレれ、軟弱地盤に潜り、バランスを崩して転倒したものを。
- ・人身被害無し。シートベルト装着。バックホウの操作室は部屋タイプ。



【事故発生原因】

- ・スロープ造成の具体的な指示が不足しており、奥側から造成しようとし、地盤の悪い傾斜地に重機を配置したため。
- ・作業の監視員を配置する予定であったが、配置せず、作業を行ったため。
- ・転倒の恐れがある傾斜地における重機作業の安全の指導が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

- ・転倒の恐れのある作業においては、監視員を配置し、作業の確認を行う。
- ・建設機械作業時の安全教育の徹底。 など